

活動報告

【宇和島市議会 教育環境副委員長に就任いたしました。】(2016/9/28付け)

【愛媛平成市議の会 監査役に就任いたしました。】(21016/5/23付け)

【小さなことでも、しっかりと】

市道の舗装面の改修、野良犬・野良猫の問題、街灯の不備、小さなことでもしっかりと着実に対応いたしております。もちろん、無理筋は通りませんが、誠実に各事案を担当当局に説明していくことにより、解決策を見つけていただいております。職員の皆さんとの信頼関係もでき、**市民の皆さんの要望により一層お応えできるように**頑張っております。

何でもご要望、ご一報ください。電話・メール・FAX・お手紙、ご連絡お待ちしております。

【IPU短期大学部公立化について】

環太平洋大学短期大学部(旧 愛媛女子短期大学)を運営する学校法人創志学園から、宇和島市へ、同校を公立大学法人化して地域に貢献する教育機関として活用してほしいという要望がありました。平成27年11月にその要望が届いていたようですが、本年(平成28年)9月の全員議員協議会で説明を受けるまで事実確認もできませんでした。南予地方唯一の高等教育機関である、同校を存続させること自体には多くの方が賛成するでしょうし、そのためにいくらかの財政支援を市が行うことにも反対する方はおられないはずです。しかしながら、「税金を振り向ける先としてどうか」や「その金額」に市民理解が得られるかという議論は丁寧になされるべきであります。そのためには、現状の分析が必要で、現在、創始学園グループの経営ノウハウを駆使して経営を行いながら、収支のバランスがとれていないのではないか(他の経営部門でカバーできないような)ということを見ると、安易に「無いよりは有った方が良い」という理屈で割り切るレベルのものではない、大きなリスクがあるように思います。私はあえて、ここは慎重を期し、判断の基となる数字(現状の単年の収支から、長期の経営計画等)が出た段階で、公立化によるリスクを宇和島が負えるかどうかを市民に問うべきでないかと主張します。

手元のデータ※1によると全国の公立大学の自主財源率※2はとても低く、20%～40%の大学がほとんどのようです。大学があることによって増える地方交付税(1人あたり40万7千円＝24万4千円×1.67(短大・保育系の場合、設置学部による係数))と、現状の私立大学等経常費補助金(平成27年度で5,000万円程度か?)を学生一人あたりで計算した補助額(一人あたり30万円を少し超えるぐらい)との差はおよそ10万円(実際は9,253万円)とし、学費を26万円※7安くしたとし、現在の学生数を160名(平成27年が159名)。公立化後、定員200名を満たす(現在、定員の8割ほど)という条件で、ざっくりと収入の増加について計算を起こしました。交付税(国からの仕送り)の増分から私立大学等経常費補助金を減額した額が、10万×160名＝1,600万円
学費見直しによる減額が、－26万×160名＝－4,160万円
増えた学生分の学費の増は、64万×40人＝2,560万円
増えた学生分の交付税額は、40.7万円×40人＝1,628万円
入学金は、公立になることで安くて、入学者が200人まで増えることで増減無しとしてみます。
以上合計で1,628万円の増収です。

現在の費用負担のまま(学生数増加による費用増を0としても)で単年度の収入不足額がこの額を超えるようであれば、国からの仕送り以上のお金を市の一般会計(他に使えるお金)から出さなければなりません。

もちろん、支出の見直しも必要です。人件費の減額には限界があるでしょうから、現在の人員配置(専攻科の見直しも含め)から大きな見直しが必要だと思います。その上、中長期的には、老朽化した施設の更新も必要でありこれも財政を圧迫するでしょう。いずれにせよ、**地域の中で大学の位置づけをどうするかというプラン**をしっかりと持つべきでありますし、そのためには**履修内容の見直しを含めて、いかに定員充足率を上げて、定員増につなげるかという中長期的なプラン**を作っていくことが必要でありましょう。

また、**公設民営という形など学校経営はどこが行うのかなどガバナンスをどうするかも重要**です。いずれにせよ、考え得るリスクにはすべて解決策をもって準備していくべき課題であると思います。

皆様のご意見をお願いいたします。電話・メール・FAX・お手紙等、ご連絡お待ちしております。

※1 公立大学ファクトブック2014(最新のデータ) ※2 自主財源率※3/大学予算額※4 をいう。

※3 自主財源額とは、大学の入学検定料・入学金・授業料などの自主財源の合計額のこと。 ※4 大学予算額とは、大学経常費※5および臨時費※6の合計額のこと。

※5 大学経常費とは、人件費および物件費の合計額のこと。 ※6 臨時費とは、建設費、施設改修費、調査費などの臨時の経費の合計額のこと。

※7 現在の初年度納付金114万円から入学金24万円を引いた90万円(授業料+施設充実費+教育充実費)。公立大学の授業料535800円に施設費等を10万と見て64万円※8。

※8 「2015年度 国公立大学 受験料・初年度学費一覧」より

【ICT環境の拡充を応援しています】

学校のICT環境整備について提案を続けて参りましたが、本年(平成28年)7月に宇和島市小中学校校長会から「宇和島未来人～夢実現プラン～」というものが出されました。※1この要望は、

- ① 児童生徒用コンピューターのソフトウェア整備
- ② 教育用ネットワークの整備(教室・体育館への無線LAN整備)
- ③ 校務支援システムの構築(学籍・成績管理グループウェアの整備)

という、三点からなります。

昨年までに市内全小中学校の児童生徒用パソコンが整備完了しましたが、そのパソコンを有効に使うソフトが不十分であることから①の要望が上がりました。また、無線LANの環境が十分でない(インターネットにつながりにくい状況)、本年整備される教員用のパソコン(7年ぶりの入れ替え)も、整備が進むプロジェクターやタブレットコンピューターもその効果を十分に発揮できません。たとえば次の授業でプロジェクターを使おうという際にも、休み時間いっぱい使って接続の準備をしなければならないことになっています。そこで、②の要望がでてまいりました。そして、様々な学校業務が拡大するなかで先生方が一人一人の児童生徒と向き合う時間を確保するために(校務にかかる時間を1年間で96.2時間短縮(教師一人あたり))という報告のある※2)、③の整備が求められました。

現状、「宇和島市ICT活用推進事業」で、各学校でICTを活用した授業改善に取り組んでおりますし、本年からは、モデル校(4校)を指定してICT活用についての実践研究を行っています。その結果をもって、速やかにすべての小中学校に環境整備を広げられるように応援ができればと思っています。プロジェクターやタブレットコンピューターなどを活用して、学力・運動能力の向上が見られることは全国の先進事例で明らかであります。もちろん現場のスキルアップは必要ですが、**校舎の耐震化が完了する本年から、新たな投資先として、改めて、ICT環境整備を主張して参ります。**(エアコン整備の推進を加えて、自由民主党議員会から市長への平成29年度当初予算編成に関する要望書に文案を採用していただきます)

皆さんも、応援の声を上げてください。子供たちは地域の宝です。よろしく願います。

※1 宇和島教育 2016.7.20号 より ※2 西条市未来都市モデルプロジェクト 教育分野における最終報告書 より

2016年11月



宇和島市議会議員

たけだもとすけ

武田元介

武田元介ニュースレター Vol.12

黎明
REI MEI



【プロフィール】

宇和島市恵美須町生まれ(55歳)
天神小学校 卒業
宇和島市和霊町へ転居
城北中学校・宇和島東高・岡山大学 卒業
(株)加ト吉勤務後、宇和島漬物食品(株) 入社
宇和島市大浦へ転居
宇和島市栄町港に転居

【趣味】マラソン・トライアスロン
家事・育児・読書



6月26日お魚が好き宇和島



7月2日山本順三氏応援



5月23日平成市議の会研修



6月4日愛南トライアスロン



5月26日宇和島法人会総会



6月25日海すずめ先行上映



7月22日ガイヤカーニバル

あなたも「武田元介ニュースレター 黎明」の
読者登録しませんか?～他人事でなく自分事～

読者登録していただきますと、「武田元介ニュースレター 黎明」を毎月(年4回の予定)お届けいたします。是非、下記までお申し込みください。

メール m_takeda@motosuke.net
FAX 0895-24-5610

皆さんの声を聞かせてください

ミニ集会・座談会お申し込み、少ない人数でもかまいません。
武田元介が伺わせていただきます。

皆様で自主開催されるミニ集会や座談会に是非参加させていただけたらと思います。「ママ友が集まる会・近所やスポーツ仲間が集まる会」など、どんな会でもかまいません。是非伺わせていただいてお話お聞かせ下さい。

facebook

twitter

政策発信

ブログの更新やツイートのまとめなど、いろんな情報を発信しています。

時々つぶやいています。フォローお願いします。 @TakedaMotosuke

<http://motosuketrd.blog.fc2.com/>